

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112L001		技術科指導法(中等) (Introduction Method of Industrial Arts(Junior High School) )																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 市原靖士、中原久志  E-mail 内線												
授業の概要	中学生を対象とした技術教育として、1)技術的課題解決力(技術教育に関する問題を技術的視野で認定し、課題化して、一定の制約条件の元で最適化を図りつつ解決する能力、2)協同的行動能力(学習者の共同や協力及びそれらを前提とした分業・分担目標達成の鍵)を育成するための方策について指導する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 技術教育について理解する。																		
目標2 普通教育としての技術教育について理解する。																		
目標3																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 教科とは何か																		
2 授業とは何か																		
3 授業設計(1)基本的なフレームワーク																		
4 授業設計(2)具体的な設計事例																		
5 授業設計(3)ICT等を利用したフレームワーク																		
6 指導案の書き方																		
7 指導案を書く																		
8 模擬授業																		
9 技術科教育における技術の捉え方(1)学習指導要領について																		
10 技術科教育における技術の捉え方(2)教材開発的に視点から																		
11 技術科教育における技術の捉え方(3)実習を中心として																		
12 技術科教育における技術の捉え方(4)ICT機器利用に関して																		
13 わが国の技術教育の現状																		
14 アメリカ合衆国における技術教育																		
15 技術科の授業内容の検討																		
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		B:意見の表現・交換		C:応用志向		D:知識の活用・創造		グループに分けデジタル教材の開発を共同で行いプレゼンテーションによる発表をする。模擬授業をしその内容についてのディスカッションをする。		工 夫 そ の 他 の	ICT機器を使った指導について実践させる。						
時間外学修の内容と時間の目安	準備 授業の指導案作成(3時間)		学修 デジタル教材の開発(3時間)		事後 授業の指導案の修正、改善(1時間)		学修 デジタル教材の修正、改善(2時間)											
教科書	中学校学習指導要領 中学校学習指導要領解説技術・家庭編 新技術科教育総論(日本産業技術教育学会技術教育分科会編)																	
参考書	特になし																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法							割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	試験							50%										
	レポート課題							50%										
注意事項																		
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。																	
リンク																		
	URL																	